

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 3月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『寿曾我対面』	○			
	『女辰駕』 『俄獅子』	○			
	『鎌倉三代記 絹川村閑居の場』	○			
	『団子売』			○	○
	『双蝶々曲輪日記 角力場』	○			
	『五代目中村雀右衛門襲名披露口上』				
	『祇園祭礼信仰記 金閣寺』	○			
『関三奴』					
新橋演舞場	『乱鶯』			○	○
松竹座 (大阪)	『ワンピース』			○	○

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

恵比寿・エコ劇場	2月	日本劇団協議会『君は即ち春を吸ひこんだのだ』プログラム
大阪新歌舞伎座	3月	『舟木一夫特別公演』プログラム
神奈川芸術劇場	3月	若手舞踊公演SUGATA『新説西遊記』プログラム
国立劇場大劇場	2月	『日蓮宗の声明』プログラム 『舞楽』プログラム
	3月	新派公演『遊女夕霧』『寺田屋お登勢』プログラム
国立劇場小劇場	2月	『文楽公演』プログラム、床本集
座・高円寺1	2月	演劇実験室万有引力『奴婢訓』プログラム、台本
シアターグリーンBOX in BOX	2月	Pカンパニー『プロキユストの寝台』プログラム
シアタークリエ	3月	『ピアフ』プログラム
下北沢小劇場B1	2月	熱帯亜熱帯レーベル『サブトロピカルサステナビリティ』プログラム
帝国劇場	2月	『Endless SHOCK』プログラム
東京芸術劇場プレイハウス	2月	『逆鱗』プログラム
東京芸術劇場シアターウエスト	2月	『オーファンズ』プログラム
博品館劇場	3月	Tokyo七福神GEKIJO『TARO』プログラム 『夢で逢いましょうThe Final』プログラム 『就活ミュージカル!!2016』プログラム ベニバラ兎団『平安シャングリラ』プログラム
パルコ劇場	2月	『恋と音楽 FINAL』プログラム
明治座	3月	『かあちゃん』プログラム
萬劇場	2月	劇団たいしゅう小説家『カンタンには死にたくない (仮)』プログラム

(新着資料案内 続き)

■ 演劇雑誌 ■

- | | |
|---|-----------------------------|
| 『Bandaly』2016年(15号) | 『演劇博物館報』2016年Mar. Vol.112 |
| 『Confetti』2016年APRIL | 『歌舞伎座ギャラリーNEWS』Vol.1-5 |
| 『Confettiかわら本』2016年4月号 | 『喝采』2016年7月 |
| 『あぜくら』2016年3月号 | 『近松研究所紀要』2016年(26号) |
| 『アート・リサーチ』2016年3月(16号) | 『芸劇BUZZ』2016年4月-5月-6月号 |
| 『シアターガイド』2016年5月号 | 『国立演芸場公演ガイド』平成28年4月号 |
| 『ステージぴあ』2016年3+4月号 | 『神奈川芸術プレス』2016年4月-5月Vol.129 |
| 『テアトロ』2016年4月号 | 『前進座』748号-758号 |
| 『ミュージカル』2016年3月-4月号 | 『大向う』平成28年4月号 |
| 『ラ・アルプ』2016年4月号 | 『伝統文化新聞』2016年(118号) |
| 『演劇ぶっく』2016年4月号 | 『日本芸術文化振興会ニュース』平成28年4月号 |
| 『演劇映像学連携研究拠点ニューズレター』
2016 February(6号) | 『日本照明家協会誌』2016年3月号 |
| 『演劇界』2016年5月号 | 『舞台芸術通信PROBE』2016年2月10号 |
| 『演劇研究』2015年39号 | 『邦楽の友』平成28年4月号 |

■ 映画雑誌 ■

- | | |
|--|-------------------------------|
| 『NFCカレンダー』2016年4月-5月号 | 『映画学』2015年29号 |
| 『SCREEN』2016年5月号 | 『映画時報』2015年12月号 |
| 『キネマ旬報』2016年4月上旬号,4月下旬号 | 『映画時報』2016年1月号 |
| 『シナリオ』2016年5月号 | 『映画秘宝』2016年5月号 |
| 『シナリオ教室』2016年4月号 | 『映画論叢』2016年(41号) |
| 『ドラマ』2016年4月号 | 『衛星劇場プログラムガイド』2016年4月号 |
| 『ムービー・スター』2016年5月号 | 『松竹(社報)』2016年(192号) |
| 『ロケーションジャパン』
2015年12月号,2016年2月号,4月号 | 『日経エンタテインメント!』2016年3月号 |
| 『映画テレビ技術』2016年4月号 | 『民間放送』1989号-2005号,2007号-2023号 |
| | 『立教映像身体学研究』4号 |

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『劇場版ウルトラマンX きたぞ!われらのウルトラマン』	○				○
『家族はつらいよ』	○	○	○		○
『あやししい彼女』	○		○		○
『たまゆら 卒業写真 第4部 朝 あした』	○				
『ドクムシ』	○				

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■

- 『僕だけがいない街』 『バットマン vs スーパーマン ジャスティスの誕生』

出版

- 『釣りバカ日誌 映画DVDコレクション』 2016年2月2日 (株)デアゴスティーニ・ジャパン
映画プログラム『釣りバカ日誌』シリーズのうち18作品を図版として提供
- 『読売新聞』 2016年3月4日 読売新聞社
歌舞伎海外公演のスチール写真を記事に提供
- 『松竹百二十年史』2016年3月30日 松竹株式会社
映画座館ニュース「SHOCHIKU-ZA NEWS」「松竹座ニュース」、及び「松竹社報」を図版として提供

プログラム掲載

- 「五代目中村雀右衛門襲名披露三月大歌舞伎」 2016年3月3日～27日 歌舞伎座
三代目中村雀右衛門スチール写真『仮名手本忠臣蔵』（大正10年11月中座上演）・『増補忠臣蔵』（大正8年10月浪花座上演）・『演芸画報』大正2年3月号グラビア（『伊達娘恋緋鹿子』）を公演プログラムの記事に提供

放送

- 『ファミリーヒストリー 宮本亜門』 2016年2月26日 22:00～22:50（再放送・オンデマンド放送・国際放送あり） NHK 総合テレビ
松竹歌劇団アルバム「思い出の舞台」、及び雑誌『楽劇』昭和6年7月～12月の久世蘭子の記事を提供

その他

- 「Mizoguchi AND Censorship: Intermediality, Gender, and Japanese Modernity」
（首都大学東京 木下千花）2016年2月17日 シカゴ大学東アジア研究センター
映画台本『祇園の姉妹』検閲部分3箇所を学会発表の中での映写に提供

「中央区まちかど展示館」のホームページが完成しました！

中央区では区内にある、地域の歴史的文化的資料などを展示し、一般に公開している施設を「中央区まちかど展示館」として認定し、助成を行っています。当館は、平成25年9月6日に認定されております。この度、「中央区まちかど展示館」のホームページ(<http://www.chuoku-machikadotenjikan.jp/index.html>)が完成しました。



「中央区まちかど展示館」のトップページです。上部右より二番目の「まちかど展示館一覧」をクリックすると、各館の紹介ページ一覧に飛びますので、是非当館の紹介ページをチェックしてみてくださいませ。

「中村雀右衛門-初代より五代目まで-」展

展示期間:平成28年3月17日～4月27日 / 於 閲覧室

今回の所蔵資料展示は、3月歌舞伎座にて華やかに幕を開けた、五代目中村雀右衛門襲名披露公演を記念して、「中村雀右衛門-初代より五代目まで-」と題した展示を行っております。

「中村雀右衛門」というと、女方の名跡、と思われる方がほとんどかもしれません。明治大正期に活躍した三代目は、義太夫物に造詣が深く、人形振りに優れた演技力のある女方でした。また、歿後四年が経っても今なおその舞台の記憶が瑞々しい四代目と、そして四代目の次男で、赤姫や娘役、世話物の女房など幅広い役柄を上品かつ的確にこなす当代の五代目は、いずれも女方です。

一方で、初代と二代目は立役でした。主に幕末に活躍した初代は、文化3[1806]年に生まれ、四代目中村歌右衛門の門弟となり、嘉永4[1851]年に初代中村雀右衛門と改名しました。敵役を得意としており、明治4[1871]年に没しました。二代目は、天保12[1841]年に生まれ、初代の門弟となり、明治8[1875]年に二代目中村雀右衛門を襲名しました。立役と敵役で活躍し、明治28[1895]年に没しました。

今回は、この初代より五代目までの中村雀右衛門代々の資料をご紹介します。当時の筋書に描かれた二代目の立役姿の挿絵、三代目の襲名時の筋書や葛の葉姫に扮したスチール写真、四代目と五代目が親子で八重垣姫を演じた際のスチール写真など、様々な資料を展示しています。雀右衛門代々のことがわかるだけでなく、幕末から現在までの歌舞伎のうつりかわりを辿ることもできる展示となっております。

なお、中村雀右衛門襲名披露興行は今後、6月に博多座、7月に大阪松竹座にて行われます。

▼展示資料一覧▼

初代中村雀右衛門【文化3[1806]年生～明治4[1871]年8月18日没】

四代目中村歌右衛門の門弟

●番付【縮小複製】文久2[1862]年9月堀江芝居(大坂)『敵討優曇華龜山』『染模様妹背門松』

左枠外に大きく「番頭善六 百姓久作 スケ 中村雀右衛門」と記されている。『染模様妹背門松』のみに出演。

「スケ」とは、地位の高い狂言作者・役者・竹本の太夫等が「助っ人」で一座に加わった際、肩書に付く歌舞伎用語。

二代目中村雀右衛門【天保12[1841]年2月24日生～明治28[1895]年7月20日没】

初代中村雀右衛門の門弟

●台本【袋】『高砂相生松』明治18[1885]年11月8日祇園座(京都)

祇園座新築開業式の台本。袋の表書の左下に「中村雀右衛門」と記されている。

●雑誌「歌舞伎新報」1444号 明治26[1893]年2月8日印刷出版

表紙『楠公遺訓軍歌響』[左]うどんや[番付の役名:近藤貞助](二代目中村雀右衛門)、[右]藝者(四代目岩井松之助)。明治26[1893]年1月25日初日の春木座の二番目の演目。1頁より8頁まで正本が掲載されている。

●春木座筋書 明治25[1892]年5月4日『新薄雪物語』挿絵・配役に、幸崎伊賀守(二代目中村雀右衛門)の名前が見える。また、園部左衛門は四代目芝雀で後の三代目中村雀右衛門である。



番付(一部抜粋)
文久2[1862]年9月
堀江芝居(大坂)



春木座筋書明治25[1892]年5月4日 / 『新薄雪物語』挿絵・配役



右頁拡大図
左に「伊賀守 雀右衛門」
中央下に「左衛門 芝雀」

三代目中村雀右衛門【明治 8[1875]年 7 月 2 日生～昭和 2[1927]年 11 月 15 日没】

二代目中村雀右衛門の養子

●浪花座(道頓堀)筋書 大正 6 年[1917]10 月『芦屋道満大内鑑』挿絵・配役に「娘 葛の葉姫 芝雀改め雀右衛門」と記されている。また、表紙裏にも「～芝雀改め三代目中村雀右衛門の襲名披露を致させ～」とあるため、三代目中村雀右衛門の襲名披露であることがわかる。

●スチール

『芦屋道満大内鑑』大正 6 年[1917]10 月浪花座 葛の葉狐(四代目中村芝雀改め三代目中村雀右衛門) 襲名時の写真
『籠釣瓶花街酔醒』大正 8 年[1919]3 月明治座 [左]兵庫屋八ツ橋(三代目中村雀右衛門)、[右]佐野次郎左衛門(二代目市川左團次)

『本朝廿四孝 奥庭』※上演年月日及び劇場不明 八重垣姫(三代目中村雀右衛門)

左頁拡大図
葛の葉狐の三代目中村雀右衛門



浪花座(道頓堀)筋書
大正 6 年[1917]10 月
『芦屋道満大内鑑』挿絵・配役

四代目中村雀右衛門【大正 9[1920]年 8 月 20 日生～平成 24[2012]年 2 月 23 日没】

六代目大谷友右衛門の長男

●プログラム「雀右衛門の会」第十二回 平成 2[1990]年 5 月 28 日歌舞伎座
昭和 55[1980]年に第一回が催され、平成 4[1992]年までに計十三回が開催された。

●スチール

『箕輪の心中』昭和 7[1932]年 5 月明治座 小坊主安念(初代大谷廣太郎＝四代目中村雀右衛門)
『妹背山婦女庭訓 三笠山御殿』杉酒屋娘お三輪(四代目中村雀右衛門)四代目中村雀右衛門襲名時の写真か?
『二人椀久』昭和 54[1979]年 4 月歌舞伎座 [左]松山太夫(四代目中村雀右衛門)、[右]椀屋久兵衛(五代目中村富十郎)
『雪暮夜入谷畦道』平成 9[1997]年 2 月歌舞伎座
[左]大口屋抱え三千歳(四代目中村雀右衛門)、[右]片岡直次郎(十二代目市川團十郎)
『祇園祭礼信仰記 金閣寺』平成 13[2001]年 3 月歌舞伎座 将監息女雪姫(四代目中村雀右衛門)

五代目中村雀右衛門【昭和 30[1955]年 11 月 30 日生】

四代目中村雀右衛門の次男

●雑誌「ほうおう」No.77 昭和 59 年[1984]9 月 1 日発行 記事「この一枚」七代目中村芝雀(＝五代目中村雀右衛門)

●スチール

『妹背山婦女庭訓 道行恋芋環』昭和 46[1971]年 3 月歌舞伎座 当時十代の同い年の俳優による共演
[左より]入鹿妹橘姫(七代目中村芝雀＝五代目中村雀右衛門)、烏帽子折求女(三代目中村梅枝＝五代目中村時蔵)、杉酒屋娘お三輪(五代目中村勘九郎＝十八代目中村勘三郎)
『仮名手本忠臣蔵 七段目 祇園町一力茶屋』昭和 59[1984]年 7 月国立劇場
[左]大星由良之助(片岡孝夫＝十五代目片岡仁左衛門)、[右]遊女お軽(七代目中村芝雀＝五代目中村雀右衛門)
『俊寛』昭和 62[1987]年 6 月国立劇場
[左]海女千鳥(七代目中村芝雀＝五代目中村雀右衛門)、[右]俊寛僧都(十二代目市川團十郎)
『鳴神』平成 19[2007]年 5 月新橋演舞場
[左]鳴神上人(七代目市川染五郎)、[右]雲の絶間姫(七代目中村芝雀＝五代目中村雀右衛門)
『新皿屋舗月雨曇 魚屋宗五郎』平成 22[2010]年 5 月新橋演舞場
[左]宗五郎女房おはま(七代目中村芝雀＝五代目中村雀右衛門)、[右]魚屋宗五郎(四代目尾上松緑)

四代目と五代目の中村雀右衛門

●雑誌『演劇界』

[左]平成 7[1995]年 7 月号 表紙:『藤娘』四代目中村雀右衛門の藤の精
[右]平成 13[2001]年 12 月号 表紙:『藤娘』七代目中村芝雀(＝五代目中村雀右衛門)の藤の精

●スチール 『本朝廿四孝 十種香 奥庭』三代目中村雀右衛門七十五年祭追善狂言 平成 14[2002]年 11 月歌舞伎座
[左]『十種香』八重垣姫(四代目中村雀右衛門)
[右]『奥庭』八重垣姫(七代目中村芝雀＝五代目中村雀右衛門)

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実に永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2016（平成28）年3月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

個人（敬称略）

永松宏之

どうもありがとうございます

3/10の閲覧室です。右のテーブルでは番付の片付をしています。左では変わらず黙々と登録作業をしています…この作業は春期休館最終日の前日まで続きました。↓



↑3/9の閲覧室です。黙々と演劇資料の登録作業をしています。



■ 休館のお知らせ
平成28年のゴールデンウィーク中は、
4月28日（木）～5月1日（日） 休館
5月2日（月） 開館
5月3日（火）～5日（木） 休館
5月6日（金） 開館
となりませ

■ 編集後記
▼おかげさまで、3月の春期特別整理休館が無事終了しました。閲覧室を活用して、大量寄贈された演劇プログラムの整理、番付の片付など、多くの作業を行うことができました。現在、通常通り開館しておりますので、お近くにいらいした折は、是非お立ち寄りくださいませ。



● 利用案内
開館時間
平日午前10時～午後5時
休館日
土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期特別整理期間
※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。
入館料 無料
館内閲覧のみ
● 交通案内
東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分